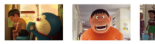
# 2014年。僕らはドラえもんに涙する大人になっていた。

改めて、友情っていいなと思いました。のび太君が子どもから大人になっていく世界を現在と未来という形で表現していましたけど、自分1人で解決していくところに涙をもらいました。また、しずかちゃんとお父さんが語るところ、うるっとしました。3DCGによって感情がすごく上手く表現されたと思います。質感や手の動き、音、髪の毛の動き、目の動き、肌の動き、が期待以上にリアルで、ドラえもんの"人間的"エモーショナルな部分というのを感じましたね。ドラえもんが我々に教えてくれたことはイノベーションとか価値創造ということだと思うんです。どこでもドアに代表されるような、我々が未来のために今をどう生きるかのヒントを教えてくれる存在。私もモノづくりの会社におりますので映画のような世界、夢が未来の日本を作っていくんだろうなと改めて思いました。

豊田章男
トヨタ自動車社長



「出木杉くんとのび太のどちらがいい」って昔からずっとあるテーマだし、観終わった後女子同士で話が出来そう。未来のシーンで、独身男子たちが一緒に飲むシーンで出木杉くんオーラが消えていましたね。出木杉くんが上手くいかなくてちょっと弱っている感じとか好きです。今、出木杉くん狙ったら落ちるんじゃないか、とかね(笑)男の人って弱っているときに入り込むと意外と勝算があるんです。あと、しずかちゃんはあんなに男を甘やかしたらダメだと思うんですよね。でも、「だめな男の人を許して守ってあげたい」って思ったほうが、いい結婚相手見つかるんじゃないかなってちょっと希望が持てました。今日でだいぶストライクゾーンを広げました。43歳の独身女性という立場で見てもキュンとくるし、けっこう刺さる合同は何個もありました。

樹木希林

ドラえもん映画は大好きで子供の頃からずっと観ていましたが、その時とは違う感覚で楽しめました。観やすいストーリーで子供の頃のように夢中になって観ました。のび太くんとしずかちゃんのラブストーリーだったり、ドラえもんとのび太くんの「友情」は大人になった今でもホロリと感動しちゃいます。いくつになってもドラえもんは夢中にさせてくれます。私がお母さんになったとき自分の子供に見てほしいです。ドラえもんはやっぱりいいですね。

前田敦子
優

「ドラえもん」という物語を初めて観たんですよ。「ドラえもんはすごい人気で、子どもたちが夢中になってるんだから、そういうもんなんだろうな」って思ってたんだけど、これに夢中になっている大人がいるってのは、びっくりしました。出来るまでに3年半かかってるって聞いて、「大変だったでしょ?」って言ったら、「いやいやいやいや、楽しかったです!」って言うんだから、こんな幸せなことはないでしょうね。これはやっぱりお客さんに伝わるんじゃないでしょうか。大人を興奮させるものが「ドラえもん」でも「ドラえもん」が傍にいたら楽しいとは思いませんよ(笑)それはやめてくれいって言いたいですね。本当に困っちゃう(笑)そばに居たらやっぱり依存しちゃうし、そばに居ないからこそ、人間が誰でも持ってるダメさも見事なところも全部含めて普遍的な願望みたいなところが描かれるからこそ、こうやってずっと残っていくんでしょうね。70過ぎたおばあさんでもなるほどね(笑)と思うんですから(笑)

樹木希林



まさか「ドラえもん」でこんなに泣くとは思いませんでした。しずかちゃんのお父さんの「生まれてきてくれただけで幸せにしてくれた」という台詞にきましたね。女性の立場的には「私、のび太くんのこと好きになるかな?」ってちょっと考えたりもしましたけど(笑)でも、一途にしずかちゃんを想っているところとか、好きという感情が原動力になっているのび太くんを応援したくなったし。人や道具に願いがちなところは、もっとしっかりしなさいよって思うけれども、人を思いやる優しさをもっているところにほろってくる気持ちも分からないでもないとは思いますね(笑)男女の愛だけでなく、家族愛だったり友情の愛だったりっていうものを含めたラブストーリーになっていた気がします。大人のカップルで観てもご「観てよかったね」って心穏やかになるだろうし、将来のことを想像したり、話は尽きないだろうなと

西尾由佳理
フリー　思います。
アナウンサー

「大人になるということはどういうことなのか?」と考えてしまいました。決して、何かが変化してしまうわけではなく。大人の自分の中に子どもの自分もちゃんといるんだなと思い出させてくれる映画で、安心しました。「ドラえもん」が僕をあの頃に連れて行ってくれました。SFとしての新しさ、未来の街の描き方も素晴らしいですが、でもその新しい映像の中で、たとえば、結婚前夜のしずかちゃんとお父さんの会話は普遍的でずっと変わらないものが描かれている。だから、感情にすっと入ってきたし。涙を流しました。3DCGで技術がどんどん進化しても、ドラえもんの思いみたいなものはリレーされている感じがしました。この年代になって改めて、海外よりも、日本のいまここにあるものの凄さに気づかされているこの頃ですが、この「ドラえもん」は、新しい時代にも、世界にも負けない、すべての世代に観て欲しい映画です。

秋元康
作詞家

最初は3DCGに馴染めるかな不安があったけど、はじまってすぐにそんな不安は吹き飛ばされた!3DCGのおかげで、ドラえもんの世界にグッと入り込んで作品を観る事ができた!のび太の部屋の量の目を細かく表現していたり、ランドセルを留める金具の細れ具合やひみつ道具達の臨場感がたまらない。特にタケコプターのシーンは、今までのドラえもんにはなかった疾走感が加わりドキドキさせられた!ドラえもんの名シーンと呼ばれるストーリーがいくつもうまく重なりあって、見応えたっぷりです!のび太がジャイアンに何度も立ち向かう姿がよりリアルに表現されていて感動しました。改めて自分の中にドラえもんという存在と歴史が深く刻まれている事に気づかされる作品でした。

田村淳
タレント

映像がきれいで物語も感動的で面白く、そして泣きそうになりました。「ドラえもん」というアニメのイメージを超えている、新しい一つの映画として観ました。だから非常に新鮮でした。本作では未来都市が出てきます。僕は都市作りをしていますが未来の東京はどう変わるのか、日本はどう変わるのか、タイムマシンに乗ってきたドラえもんに教えてもらいたいくらいです。新しい未来のアイディアが、あのポケットにいっぱい詰まっていると思います。未来のシーンでは、新しい交通システムとか、緑溢れるビルなどが表現されていましたけど、みんなでもっともっと考えていかないといけないと思います。予告編にある「未来を変えろ」というコピーは今の時代に一番合った、大切なキーワードだと思いました。ドラえもんが羨ましい(笑)ドラえもんになれるなら一度なってみたいです。

辻慎吾
森ビル社長

凄く面白かったです。原作を何度も読んでいて分かったつもりでいたけど、引き込まれて観るとこんなにもパワーのある物語だったんだと改めて感じました。ストーリーラインはほとんどいじってないのに、こんなに新しい物語ができるなんて、再発見の機会を与えていただきました。登場人物が生き生きとしているのがとても印象的でした。ジャイアンに立ち向かう名シーンとか、ダメで泣きつくシーンとか。全部の感情が生き生きとしていたので、照れているときはホントだらしない顔をしていたし、得意げな時は得意げな顔をしている。観ていて本当に飽きなかったです。大人としても子どもとしても、この作品を観られる僕らはすごい幸せ者ですね。この作品は良い意味で変わってないし、良い意味で全然違うドラえもん映画になってますね。僕は生き生きとドラえもんの世界にもう一度入ることが出来たことに感謝してます。

堺雅人
俳優

見終わって涙がでたので驚きました。本当にドラえもんはいい友だちですね。お金とかもいらないし、だいぜつなのは友情!とこの映画は教えてくれる。最高だ❤私もどこでもドアがほしいと今回思った。子どもだけじゃなく大人まで満足させる映画ドラえもんーみんなで観て、やさしい人になりたくなる。ドラえもんはそういう映画だ!優しい女優

黒柳徹子

子どもの頃に抱いていた夢は、いったいどこに消えてしまったんだろう?エンディングに流れる桑基博の歌声を聴きながら、そんなことを思った。実は、子どもの頃に抱いていた夢は消えてしまったのではなく、大人ならではの環境に邪魔されて、見えなくなっているだけなのだ、という意味で、この映画は、見失いそうになっていた夢をくっきりと浮かび上がらせてくれる「夢メガネ」のような作品である。自分の未来を想像する楽しさ、自分の未来を信じる尊さ、ドラえもんとのび太の友情が、大切なことを教えてくれる。本当に大切なことは、子供も大人も関係ないのだ。自らを信じる…で、自信。未来のために最も必要なエネルギーは、自信。だと思った。

小山薫堂
放送作家

大人のび太くんがドラえもんを見て、「ドラえもんという時間を大切にしてね」と言ったところで本泣きしました。昔はばずかしかったりむずがゆかったりしてちゃんと見れていなかった「結婚前夜」のシーンも、自分がリアルな年齢になって親に感謝する気持ちもよく分かるし、泣けますね。しずかちゃんはすごく美人で。ジャイアンはリアルすぎて、ジャイアンの汗臭さが伝わってきました(笑)スネ夫はわりとかわいかったかな。風景もすごく立体的で、タケコプターのシーンも遊園地のアトラクションに乗っているみたいでした。ひみつ道具のシーンは子ども も楽しめるし、心情的なシーンは大人も楽しめ。同じ年くらいの友だちと同じ気持ちになって語り合いたい。大人だし、ドラえもんを今から見るのに抵抗感がある人もけっこういると思うけど、大人が見るべき作品です。

山本美月
女優
モデル

予想通り泣きました。前回は途中段階のものも含んだ映像を初めて観たのですが、完成したものを観て、逆に3DCGにして、リアルさがまして良かったなと思いました。背景がすごくリアルで、ドラえんやのび太が本当に街の中にいるようなリアルさがあってすごくよかったです。お話はドラえもんが大好きな人なら誰もが知っている名作。名場面がちりばめられている。ドラえもんやのび太が本当に街の中にいるようなリアルさがあってすごくよかったです。お話はドラえもんが大好きな人なら誰もが知っている名作。名場面がちりばめられている。でドラえもんファンなら展開も分かるのに、分かっていながらも泣けてしまう。それが新しい映像の力なのかな、と思いました。最初はしずかちゃんの結婚前夜のお父さんのシーンで、もう1つは、ジャイアンに立ち向かうのび太のシーンで泣きました。完成した作品は、涙の量が違いました。

羽鳥慎一
フリーアナウンサー



いつの日からだろう。あの時、素直に信じていたはずの未来が、すべて虚しくずの出来事が、素直に夢見ていたはずの未来が、すべて虚しく思えるようになってしまったのは。もちろん、すべての言葉が本当ではないし、すべての出来事が真実ではない。まして や、すべての未来が明るいはずもない。それに、何ども、何かに受け入れて生きるほど、もう子供でもない。それでも、何かを信じて、何かに感動して、何か夢見るものがなければ、やっぱり生きてゆくことは不可能な気がする。無邪気であることは愚かなことであると、不感症になったあることは応ばかなことであると、不感症になったフリをして閉じ込めていた、誰にも言えないようなこっぱ恥ずかしい思いが、ドラえもんの声によって呼び覚まされるのはなぜなんだろうか。あの時には引き返せないが、大人の鎧が邪魔になったら、ドラえもんに助けてもらおう。いつの日からだろう。一端のつもりになって、誰もがのび太であることを忘れてしまったのは……。

マツコ・デラックス
コラムニスト



心を潤わしてくれる本物のラブストーリーだ。しかもドラえもんを素材にラブストーリーを描いたのではなく、元々ドラえもんのなかに、ラブストーリーが含まれていたのだ。たとえば、結婚生活への不安を口にするしずかちゃんに、パパが語りかけるさっぱり言葉は、原作に忠実に従っている。ドラえもんのなかに埋もれていたラブストーリーを発掘し、再構成するだけでっどこにも負けないラブストーリーが出来上がってしまう。それだけドラえもんという作品が深いということだろう。そしてラブストーリーは、のび太としずかちゃんだけでなく、のび太とドラえもんの間にも描かれている。大人向けの作品だとは思うが、すべての世代が楽しめる恋愛映画の金字塔だ。経済アナリスト

森永卓郎



STAND BY ME ドラえもん

3DCG

原作：藤子・F・不二雄
脚本：山崎貴
監督：八木竜一　山崎貴
配給：東宝

©2014「STAND BY ME ドラえもん」製作委員会

8.8
ROADSHOW
doraemon-3d.com

80th 藤子・F・不二雄生誕80周年記念